

文京区中高生育成基本方針(イメージ)

I 中高生世代の現状

1 中高生世代の特徴

(1) コミュニケーション能力

- ・ IT社会で生まれ育ち、メール等のコミュニケーションが得意
- ・ 対話等を通じて気持ちを伝え合うことに苦手な一面
- ・ 一定の距離感の中にも、人との関わりに対する意欲

(2) 自己表現の仕方

- ・ 新たなことに挑戦する意欲やいざという時の行動力
- ・ 失敗や挫折に対する悔しさの感情
- ・ あまり個人としての意見を言わず、周りに合わせる傾向
- ・ リーダーになることに消極的な傾向

(3) 「自分のため」から「人のため」へと成長の過程にいる世代

- ・ 「人のため」に行動できる大人への成長過程にいる世代
- ・ 社会へ踏み出すための準備時期

2 中高生世代を取り巻く大人の姿

(1) 「叱る」ことに対する意識

- ・ 親と子どもが友人のような関係
- ・ 「叱らない」「叱れない」大人

(2) 最善の結果を求めるためのリスクの回避

- ・ 大人が先回りして、子どもにかかるリスクを回避

II 中高生育成に必要なもの

1 「やる気」や「情熱」を表せる環境

- ・ 自分の考えを素直に表すことのできる環境
- ・ 学年を越えた「縦のつながり」から、自らを成長させる機会

2 未知の可能性に期待し、成長のプロセスを認める意識

- ・ 潜在的な意欲を引き出し、自主性や問題解決能力を育成
- ・ 結果ではなくそこに至るまでのプロセスを認める大人の意識

3 社会人として社会に貢献する意識の醸成

- ・ 相手のことを考え「人のためにどうするのか」という基本姿勢
- ・ 子どもたちの憧れとなるような大人の姿勢

III 文京区中高生育成基本方針

- 目的** 中高生世代が社会へ踏み出すための、区や地域社会としての支援のあり方をまとめ、中高生施策の充実を図る
- 位置づけ** 文京区青少年育成プランの基本的理念を踏まえつつ、中高生世代の育成や事業の基本的な方針として区や地域団体で共有・活用するもの
- 対象** おおよそ12歳～18歳までの中学生・高校生の世代
- 育成目標** ～身につけてほしい「チカラ」や「姿勢」～

育成目標	中高生世代の健やかな成長を支え、 社会へ踏み出すための「たくましさ」と、人のために行動できる「やさしさ」を育む	
中高生世代に 身につけてほしい 3つの「チカラ」	★ <u>目標に向かって、自ら考え歩み出せる「チカラ」</u>	中高生世代の自主性を尊重した 間接的なサポート（環境づくり）
	★ <u>失敗や挫折を乗り越えて、自分らしく生きる「チカラ」</u>	身につけたい 大人の「姿勢」
	★ <u>自らの体験・経験を他人のために活かせる「チカラ」</u>	★ 子どもたちの能力を引き出し、 前向きな成長を認める「姿勢」 ★ 子どもたちの憧れであるため に、自らの言動を見直す「姿勢」
		◎ 中高生の主体性を育むための環境づくり ◎

5 事業の方向性 ～3つの「チカラ」を身につけるために必要な「ステージ」と環境の整備

ステージ	ねらい	事業イメージ
自分に気づき、自分を築く 「きっかけ作りの場」	・ 体験の場の提供と「やる気」の創出 (楽しさ・個性・目標の発見/地域との接点 など)	・ 地域行事への参加 (PCなど世代の特徴を活用) など
手伝うから創り上げるへ 「自分を高める場」	・ 主体性の尊重と継続性の確保 (仲間・意欲・目標の拡大/個性の伸長/居場所の発見 など)	・ 中高生企画事業 ・ メンバーの組織化の推進 など
若い力を他者へ還元し 「自らが必要とされる場」	・ 「誰かのため」の意識の醸成 (自己の存在感と自己肯定感の醸成/自立心や社会性の向上 など)	・ リーダー育成事業の推進 ・ 地域防災活動への参加促進 など

全てのステージに必要な環境整備 No1

★中高生の活動拠点★

- (1) 地域の拠点として ～児童館事業の活用～
(中高生事業の充実・地域活動との連携・社会参加支援)
- (2) 区の大拠点として ～(仮称)青少年プラザの整備～
(中高生事業の拡大・地域活動との連携)

全てのステージに必要な環境整備 No2

★中高生を地域活動に送り出す応援団★

- (1) 学校と地域団体の相互理解と連携
(中高生への参加促進・学校と地域団体の連携強化)
- (2) 地域情報の集約とその発信